

2025 年 9 月期 事業報告

【期間：2024 年 10 月～2025 年 9 月 30 日】

一般社団法人日本野球機構

=====2025 年 9 月期の振り返り=====

2025 年 9 月期は、期初の SMBC 日本シリーズ 2024 で、公式戦 3 位からクライマックスシリーズを勝ち上がった横浜 DeNA ベイスターズが、福岡ソフトバンクホークスを 4 勝 2 敗で破り、26 年ぶり 3 度目の日本一に輝きました。翌 2025 年のプロ野球シーズンは、セ・パ公式戦の入場者数が 27,040,286 人を記録し、2 年連続で過去最多を更新しました。

野球普及振興では、2025 年 6 月に日本野球協会における「中学球児応援プロジェクト」、7 月に日本高等学校野球連盟との連携事業「キッズファーストアクション～みらいへのキャッチボールプロジェクト～」を相次いで発表しました。全国各地域での野球振興、普及促進につなげるべく、取り組みを推進して参ります。

2024 年 11 月に東京ドームで開催された「第 3 回 WBSC プレミア 12」において、日本野球機構は同大会主催者の世界野球ソフトボール連盟（WBSC）より 3 大会連続で運営業務を受託しました。

「侍ジャパン」は、残念ながら準優勝で連覇を逃しましたが、全 9 試合の入場者は過去最高の 207,305 人となり、「プレミア 12」は国際的にも広く認知される大会に成長しました。

2025 年 9 月期は、機構が果たすべき目的（「野球の普及による国民生活の向上」、「野球事業の推進を通じたスポーツの発展と国際親善への貢献」）を達成することを目指し、3 つの事業（1.公益目的事業、2.収益事業等、3.その他目的を達成するために必要な事業）に取り組みました。また、中期経営計画（2023 年 10 月～2026 年 9 月）の方針を加味した事業計画に基づき実施しました。

中期経営計画に基づく重点項目は下記 3 点です。

- ◇ プロ野球オペレーションの強化
- ◇ 野球普及振興の推進
- ◇ 上記 2 つを達成するための事業の充実化

取組んだ事業の詳細は以下の通りです。

===== I.公益目的事業 =====

【野球普及振興事業】

◇ 未就学児向け施策

- 日本高等学校野球連盟との連携
「キッズファーストアクション～みらいへのキャッチボールプロジェクト～」の立上げ
2025 年 7 月に日本高等学校野球連盟と「野球の普及・振興のための連携協力に関する合意書」を締結
- 幼稚園・保育園訪問事業「笑顔のキャッチボールプロジェクト」の展開
4 都県 9 市区において 117 回・82 園を訪問。3,675 人の子どもたちとボールあそびを実施
- 機構主催事業におけるイベント実施
オールスターゲーム、フレッシュオールスターゲームの試合会場などで未就学児向けの遊びの場の提供や BT ボールを実施

◇ 小学生向け施策

- エデュすぽ！～教員のための体育事業研究会～
小中学校教員を対象にした以下の体育授業研究会を実施。合計 959 人の教員が参加
✓ 集合型：9 回実施・733 人参加
✓ オンライン型：4 回実施・226 人参加
- NPB ジュニアトーナメントの開催
期間：2024 年 12 月 26 日～29 日
参加：12 球団ジュニアチームならびに招待 2 球団と日本独立リーグ選抜ジュニアチーム
会場：明治神宮野球場、ベルーナドーム
- NPB ガールズトーナメントの開催
期間：2025 年 8 月 14 日～8 月 20 日
参加：小学生女子選手による NPB 推薦、開催地推薦を含む合計 46 チームが参加
会場：岡山県倉敷市・総社市・玉野市野球施設

◇ 中学校年代の野球環境維持のための施策

- 当機構と全日本野球協会で構成する日本野球協議会は、11 月 15 日に野球会全体で中学球児等を支援していく『全日本野球サミット』を開催することを発表

◇ その他野球普及振興に関する取組み

- 初心者向け審判講習会の実施：3 回(新潟県新潟市、神奈川県横浜市、香川県丸亀市)164 人参加
- 日本野球協議会に関わる会議体を通じたアマチュア野球団体との連携と相互協力
✓ 野球競技者登録システム「野球ねっと」「野球手帳」の運用推進
✓ プロアマ共同調査の実施(普及振興活動状況調査など)
- 現役プロ野球選手によるシンポジウム「夢の向こうに」の実施(2024 年 12 月熊本県で開催)
- 学生野球資格回復研修会の実施(2024 年 12 月実施)
- 独立行政法人国際協力機構(JICA)との連携による海外での野球普及活動
✓ JICA 隊員による赴任地域での「ベースボール型授業」教本の活用

【国際的な取り組み】

- ◇ WBSC(世界野球ソフトボール連盟)賛助会員としての活動
- ◇ MLB を含めた海外プロ野球組織との関係強化ならびに折衝
- ◇ 日本代表チーム(野球日本代表侍ジャパントップチーム)の編成・派遣支援
- ◇ WBSC プレミア 12 運営業務受託
 - 2024 年 11 月 13 日～24 日 バンテリンドーム/東京ドーム
- ◇ 侍ジャパンシリーズの開催運営支援
 - 2024 年 11 月 9 日・10 日 日本 vs チェコ
 - 2025 年 3 月 5 日・6 日 日本 vs オランダ
- ◇ 台湾ウインターリーグへの選手派遣
- ◇ オーストラリアン・ベースボール・リーグへの若手・中堅審判員の派遣

【選手関係の取り組み】

- ◇ 新人選手選択会議(ドラフト会議)、育成ドラフト会議の実施(2024 年 10 月 24 日)
- ◇ 現役ドラフト会議の実施
- ◇ 新人選手研修会開催(2025 年 1 月 10 日)
- ◇ プロ野球合同トライアウト開催の運営協力
 - ・ 2024 年 11 月 14 日 ZOZO マリンスタジアムで開催、45 人が参加
- ◇ セカンドキャリアサポート
 - ・ みやぎフェニックス・リーグ参加選手へのセカンドキャリアに関する意識調査を実施し集計結果を公表
 - ・ 退団者の動向調査を実施し集計結果を公表
 - ・ セカンドキャリアサポートマガジン「NEW BALL2025」を 2,800 部発刊。現役選手ならびにプロ野球 OB クラブ会員へ配布するとともに、インタビュー記事を公式 HP にて公開
- ◇ 支配下 10 年以上選手養老補助制度及び弔慰金制度の管理・運営
- ◇ 退団選手一時金制度の管理・運営
- ◇ 監督・コーチ・選手の国民年金基金などへの加入促進活動(12 球団と協力し、加入促進活動ならびに基金への申し込み取次ぎの実施)と加入手続きサポートを含む管理・運営

【助成事業】

日本野球機構補助金規定に則り、野球または野球を含むスポーツ振興またはその援助を目的とする下記公益団体に対し寄付金、助成金の交付を行いました

- ◇ 公益財団法人野球殿堂博物館
- ◇ 公益財団法人全国野球振興会(プロ野球 OB クラブ)
- ◇ 公益財団法人日本野球連盟(JABA)
- ◇ 一般社団法人全日本女子野球連盟
- ◇ NPO 法人アオダモ資源育成の会

【その他の取り組み】

- ◇ プロ野球の試合をより魅力的にするための調査・研究の継続
 - ・ リプレイ検証の新たなスキームの検討
2026 年から日本野球機構事務局内にリプレイセンター設置を決定
 - ・ ファーム 1 リーグ 3 グループ制移行を決定
 - ・ 試合時間短縮の実現に向けた取り組み
- ◇ 野球協約・統一契約書の編集、発行
- ◇ 公認野球規則の編集、発行
- ◇ 審判員技術向上のための取り組み
- ◇ 機構審判員の人材確保のための NPB アンパイアスクール実施
 - ・ 関東：2024 年 12 月 13 日～15 日 ロッテ浦和球場
 - ・ 関西：2024 年 12 月 20 日～22 日 阪神鳴尾浜球場

==== II.収益事業等 =====

【プロ野球公式戦開催とそれに伴う業務】

- ◇ 試合運営管理
 - ・ 2025 年度セントラル、パシフィック野球連盟選手権試合(公式戦)の日程編成
 - ・ 2025 年度イースタン、ウエスタン・リーグ年度選手権試合の日程編成
 - ・ 非公式試合の日程編成
 - ・ 上記試合の運営管理
 - ・ みやざきフェニックス・リーグの運営管理
- ◇ 選手に関する業務
 - ・ 登録、異動、FA などの公示
- ◇ NPB AWARDS2024(2024 年 11 月 26 日)開催および各種表彰の実施
- ◇ 各種刊行物の作成・発行
 - ・ 各リーグアグリーメント
 - ・ 各リーグガイドブック
 - ・ オフィシャルベースボールガイド
- ◇ 試合記録データの管理
 - ・ 年度連盟選手権試合(公式戦)および非公式戦などへの公式記録員の派遣
 - ・ 公式記録の作成
 - ・ 公式記録ベースボール・インフォメーション・システム(BIS)検索サービスの提供
 - ・ 速報記録などのメディアへの配信

【試合の主催、開催、運営】

- ◇ ファーム日本選手権
 - ・ 2024 年 10 月 5 日 ひなたサンマリンスタジアム宮崎で開催(入場者数：4,193 人)
- ◇ 日本選手権シリーズ試合
 - ・ 2024 年 10 月 26 日から横浜スタジアム、みずほ PayPay ドーム福岡で開催
株式会社三井住友銀行による特別協賛は 2014 年から 11 年連続
入場者数：6 試合合計 209,231 人
- ◇ フレッシュオールスターゲーム
 - ・ 株式会社レクザムによる特別協賛により下記試合を開催
2025 年 7 月 20 日 レクザム ボールパーク丸亀にて開催(入場者数：8,656 人)
- ◇ オールスターゲーム運営業務受託
 - ・ 株式会社マイナビによる特別協賛により下記 2 試合を開催・運営
第 1 戦：7 月 23 日 京セラドーム大阪(入場者数：33,573 人)
第 2 戦：7 月 24 日 横浜スタジアム(入場者数：33,558 人)
- ◇ WBSC プレミア 12 の運営業務受託(全 9 試合)
入場者数：9 試合合計 173,389 人

【試合以外の収益事業】

- ◇ Data Management Platform(DMP)の立上げ
NPB エンタープライズと連携し、12 球団の試合トラッキングデータ等を集積するためのシステム「DMP」を立上げ運用を開始
- ◇ グッズの製作・販売管理
 - ・ 機構管理試合・事業のオリジナルグッズ製作・販売
 - ・ NPB オフィシャルオンラインショップの運営・管理
- ◇ 機構が権利を有する商標などならびに選手肖像を含む 12 球団プロパティの使用許諾事業の管理
 - ・ 選手肖像、12 球団プロパティの使用許諾管理
 - ・ NPB エンタープライズへの機構商標などの使用許諾
 - ・ NPB マークの管理
 - ✓ 球団ならびに用具メーカーへの販売
- ◇ 球団試合写真などの素材管理サービス NPB CIC の運用管理
- ◇ 機構管理試合・事業の映像二次利用の許諾

===== III.その他目的を達成するために必要な事業 =====

【広報活動】

- ◇ 機構管理試合・事業の広報対応(取材・記者会見対応を含む)
- ◇ メディアへのプロ野球取材 ID の発行・管理
- ◇ 公式ホームページ、SNS での情報発信ならびに運営・管理
- ◇ 公式フォトの管理

【暴排活動】

- ◇ プロ野球暴力団等排除対策協議会の中央協議会開催
- ◇ 選手への講習会実施(新人研修会・みやぎフェニックス・リーグ期間中)

【NPB 医事委員会活動】

- ◇ アンチ・ドーピングの啓発活動とドーピング検査の実施
- ◇ 脳震盪ガイドラインの周知

【検査および調査】

- ◇ バット強度の研究・調査
- ◇ 統一球の反発係数調査

【組織強化】

- ◇ 財務体質強化
野球普及振興活動拡大を目的とした財源確保のために、資金運用管理規定に則った余剰資金の運用を開始

- ◇ 12 球団業務支援のための議事録閲覧システム提供開始
- ◇ コンプライアンス、法令・社会規範遵守のための取り組みの実施
 - オンラインカジノ問題への対応と啓発活動
 - コンプライアンス研修
 - 内部監査
 - 情報セキュリティ研修
 - 生成 AI 利用ガイドライン研修

以上